

貸借対照表

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	22,403,972	流 動 負 債	18,971,867
現 金 及 び 預 金	6,565,153	買 掛 金	105,814
金 銭 の 信 託	2,251,468	未 払 金	889,009
売 掛 金	11,168	未 払 費 用	2,216
前 渡 金	42,222	未 払 法 人 税 等	77,380
前 払 費 用	19,376	前 受 金	92,947
未 収 入 金	13,455,784	預 り 金	17,789,718
繰 延 税 金 資 産	17,823	賞 与 引 当 金	14,588
そ の 他	45,247	そ の 他	192
貸 倒 引 当 金	△4,273	固 定 負 債	236,600
固 定 資 産	615,343	そ の 他	236,600
有 形 固 定 資 産	67,582	負 債 合 計	19,208,467
工具、器具及び備品	67,582	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	473,169	株 主 資 本	3,810,847
の れ ん	81,967	資 本 金	100,000
ソ フ ト ウ ェ ア	389,980	資 本 剰 余 金	2,835,822
そ の 他	1,221	資 本 準 備 金	25,000
投資その他の資産	74,591	その他資本剰余金	2,810,822
長 期 前 払 費 用	39,729	利 益 剰 余 金	875,025
繰 延 税 金 資 産	3,070	そ の 他 利 益 剰 余 金	875,025
そ の 他	31,790	繰 越 利 益 剰 余 金	875,025
		純 資 産 合 計	3,810,847
資 産 合 計	23,019,315	負債・純資産合計	23,019,315

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

① 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産（リース資産を除く）：定額法によっております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
・工具、器具及び備品：4年～15年
- (2) 無形固定資産（リース資産を除く）：定額法によっております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

② 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担すべき額を計上しております。

③ その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
- (2) 決算日の変更にに関する事項
当社は、決算日を毎年6月30日としておりましたが、当社の親会社（みなし親会社含む）である株式会社デジタルガレージ並びに econtext Asia Limited の決算日変更にともない、グループの決算期を統一することにより、効率的な事業運営の推進等を図るため、平成28年9月28日開催の定時株主総会の決議に基づき、決算日を3月31日に変更しております。
当該変更に伴い、事業年度変更の経過期間となる当事業年度の期間は、平成28年7月1日から平成29年3月31日までの9ヶ月間となっております。

④ のれん償却に関する事項

のれん償却については、10年間の均等償却を行っております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 435,835 千円